

<b>〔科目名〕</b> 知の挑戦 I	<b>〔単位数〕</b> 4単位	<b>〔科目区分〕</b> 演習科目																						
<b>〔担当者〕</b> 三浦英樹		<b>〔授業の方法〕</b> 演習																						
<b>〔演習テーマ〕</b> 「自然地理学と歴史学の視点から自然と人間の関係(環境史)を探り、地域創造について考える」 ① 現在の人類の位置づけを知り、自然と人間の相互関係について考えること ② 持続可能で豊かな社会を作るために自然を生かした技術や文化について考えること ③ 人間がもともと持っていた生態知、在来知、暗黙知を再評価し、現代の地域社会への活用について考えること																								
<b>〔演習内容〕</b> 「地理空間情報学」、「地形地質学」、「自然環境学」、「地域の自然と人間の歴史」、「青森県を中心とした北東北地域の地理学的知識」の習得、習得した知識やそれから導かれる考えを文章や口頭で発表すること。																								
<b>〔科目の到達目標〕</b> 「地理空間情報学(地図の読み方)」、「地形地質学」、「自然環境学」、「地域の自然と人間の歴史」の基本を学び、「風景と自然を読む技術」、「人間と自然の関係性とその歴史を読む技術」、「調べたこと、観察したことを他人に伝える技術」を習得すること。																								
<b>〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕</b>																								
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="4">学部</td> <td colspan="3">学科</td> </tr> <tr> <td>DP1</td> <td>DP2</td> <td>DP3</td> <td>DP4</td> <td>DP1</td> <td>DP2</td> <td>DP3</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>				学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○	○	○	○	○	○	
学部				学科																				
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																		
○	○	○	○	○	○																			
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>DP1</td> <td>DP2</td> <td>DP3</td> <td>DP4</td> <td>DP1</td> <td>DP2</td> <td>DP3</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○	○	○	○	○	○									
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																		
○	○	○	○	○	○																			
<b>〔前提条件〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風景(地形)や自然環境の成り立ちに強い興味・関心がある人、自然が大好きで山や森に出かけたいという志向がある人、自然の成り立ちと関わる人々の歴史や伝統文化・技術・文学・芸術等に興味がある人、地図を読むことが大好き(になりそう)という人。</li> <li>・① 対象とする地域の自然の成り立ち、自然と関わる人々の歴史を明らかにして、それらを人にわかりやすく説明する意欲があり、② その知識を、地域の魅力や資源、コミュニティ作りに繋げていくアイデアの創出を楽しめる人。</li> <li>・多くの本や論文等の文献をきちんと読んで、まとめて発表できる意欲と能力がある人。あるいはそれを身につける努力をいとわない人(ゼミ内での発表・報告の頻度が高く、時間的負荷が大きい場合、他にやりたいことがある場合は、避けて下さい)。</li> <li>・進級後の3年の春学期～秋学期は、夏休みや土日を含めて、長く(あるいは頻繁に)フィールド調査に出られる時間の余裕、フィールドワークに係る経費の自己負担が必要になるので、その余裕がある人。</li> <li>・下記のテキストの他に、演習やフィールドワークで必要となる「地形を感じる3D 地図アプリ『スーパー地形』」(iOS 版:960 円、Android 版:年間 750 円、パソコン版:年間 1680 円)を購入してもらうので、それが可能な人。</li> <li>・2年生で、教養科目「地球科学」、専門科目「地形地理情報論」、3年生で専門科目「自然誌・地理情報と地域創造」の講義を履修可能なこと。</li> </ul>																								
<b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b> レポートの内容、演習・フィールドワークへの取り組み状況にもとづいて総合的に評価する。																								
<b>〔教科書等〕</b> 貝塚爽平他編(2019)『写真と図で見る地形学 増補新装版』東京大学出版会(5830 円) 本多勝一(2004)『新装版 日本語の作文技術』朝日新聞社(1320 円)																								

山田ズーニー(2001)『伝わる・揺さぶる！ 文章を書く』 PHP 研究所(1100 円)	
木下是雄(1981)『理科系の作文技術』 中公新書(770 円)	
【実務経歴】	
なし	
授業スケジュール	
時期	テーマと内容
第 1 回	テーマ：「地理空間情報学」、「地形地質学」、「自然環境学」、「地域の自然と人間の歴史」、「青森県を中心とした北東北地域の地理学的知識」の習得 内容： イントロダクション、自己紹介と今後の予定。
第 2 回 ～ 第 15 回	テーマ：「地理空間情報学」、「地形地質学」、「自然環境学」、「地域の自然と人間の歴史」、「青森県を中心とした北東北地域の地理学的知識」の習得 内容： ゼミ志望時に提出したレポートを全員で共有して、文章の書き方、および興味がある地域の自然、歴史、文化に関する説明と議論を行う。テキストに『新装版 日本語の作文技術』、『伝わる・揺さぶる！ 文章を書く』、『理科系の作文技術』を用いて分担・発表を行う。
夏休み	ゼミ志望時に提出したレポートの内容の再検討と書き直しを行う。青森県内等のフィールドワークを行い、地形や自然環境と人間の生活・文化・歴史に関する調査を行う。
第 16 回 ～ 第 19 回	テーマ：「地理空間情報学」、「地形地質学」、「自然環境学」、「地域の自然と人間の歴史」、「青森県を中心とした北東北地域の地理学的知識」の習得 内容： 再作成したレポートの説明とそれに基づく議論を行う。
第 20 回 ～ 第 30 回	テーマ：「地理空間情報学」、「地形地質学」、「自然環境学」、「地域の自然と人間の歴史」、「青森県を中心とした北東北地域の地理学的知識」の習得 内容： テキスト『写真と図で見る地形学 増補新装版』を分担・発表を行う。